



『集い、そして繋いで行く！』

幹事長 S32 高森重視

年末の慌しさも間近となり、熊本地震から、はや1年半の歳月が経過しました。多くの被災なされた方々には、心よりお見舞い申し上げます。益城町の実家もやっと建替工事に入り、徐々にですが落ち着きを取り戻しつつあります。社会基盤の重要性と、地域社会の絆を強く実感したこの度の地震でありました。さて、今夏の東京九学会総会には大勢（総勢 150 名）のご参加をいただき、名誉相談役である中園達哉先輩（旧 28 回）への特別表彰に、今村讚先輩（S1 回）のハワイアンコンサート、締めは反後堯雄先輩（S6 回）のエールと、大先輩から若手（現役学生 40 名参加）まで大いに盛り上がる会となりました。「大先輩から若者へと繋げたい！」我々の思いを徐々に実現出来ているものと自負しております。来賓の阿部英樹院長はじめ本学関係の方々、そして参加いただいた卒業生の皆様、本当にありがとうございました。

私は平成 10 年より東京九学会に参加していますが、何年かするうちに若手参加者の少なさが目立つようになってきました。このような現象は同窓会共通の悩みでもあり東京九学会も例外ではなかったのです。

この現状を積極的に補完すべく平成 18 年に島本誠代表（現東京九学会会長）の下スタートしたのが若手の会 KG 会です。当時は東京九学会とは全く別の組織として独自に運営していくというスタイルで、「若手だけでやっていくぞ！」という強い意気込みと多少の反骨精神をもって取り組んでおりました。数年を経て、KG 会は東京九学会の大事なセクションとなり、幅広い層が集う同窓会の理想的な形へと前進することができました。当時の連川悠一会長や内空閑裕明幹事長の心の広さのお陰と感謝しております。この 1、2 年を振り返りますと、中園達哉先輩に「あゆみ、（東京九学会の歴史、沿革）を編集頂きましたことで、私も会の歴史、流れを色々な面から見つめ直すことができました。そこで気がつきましたのは、歴史と伝統の重さ、そして「続けることの難しさ、でした。「企業の 9 割が 10 年で破綻する、という分析結果もありますように組織を続けることの難しさです。私達も次世代へ繋ぐことのできる運営を常に心がけていなければなりません。先日、KG 会の新卒者歓迎会に一 OB として参加して参りました。大へんな盛況で「これで、あと 10 年～20 年は東京九学会も大丈夫だ！」との確信と嬉しい思いを持ちながら帰途につきました。

（以下次頁）





私は、熊本県人会の理事として各校の卒業生と接する機会がありますが、九州学院 OB には、他の高校と違い二つの特徴を感じます。ひとつは、官庁、実業、芸術、芸能、スポーツなど多岐にわたる分野で活躍され、頑張られているという事です。もう一つは同窓生に、親子、親戚関係が多く、さらに部活動もです。このような学校はどこを探してもございません！そのような皆さんが集える会、また上京した時寄り添える会、一人でも多くの方々が集える場を未来永劫提供していくことが我々に求められる使命であると実感しております。

来年の集い！は、6/30日(土)夕刻、本年と同じ学士会館です！皆様の参加を心からお待ちしております！

＝同窓会事務室の窓から＝

きらめく青春の思い出いつまでも  
～「Youは何しに日本へ」が取材～

酷暑の夏もいつの間にか過ぎ去り、開け放った窓から快い風を感じる時へと季節が移ろいで行きます。熊本地震から早や1年半が過ぎ、ダメージを受けたキャンパスの建物も、7月には2号館(旧特別教室棟)が完成し高校生が真新しい建物で快適な学院生活を過ごしています。建築中の中学校校舎も次第にその姿を見せ始め2月末には順調に竣工の時を迎えることが出来そうです。

さて、同窓会の事務室には様々な方が来られますが、先日からとても印象に残る出来事がふたつほどありました。

9月初め、ある二人の女性(母娘)が来られ「北海道に住む93歳の叔父が戦前九州学院の旧制中学校(5年制)2年時に編入し野球部でサスポー投手として頑張っていました、家庭の事情で4年生の時にやむなく転校しました。先日久しぶりに叔父を訪ねて行った際に、九州学院の青春の日々を懐かしがり『九学が恋しい。恋しい』と何度も言うので、今の九学を映像にして送ることを約束し学院を訪ねました」と話されました。

早速ご案内すると、当時から今も残る、国の登録有形文化財「ブラウン・メモリアル・チャペル」や東門(昔の正門)などをビデオや写真でたくさん撮って頂きました。

同窓会からも九学グッズや創立百周年記念のDVDなどをプレゼントすると、数日後にご本人から丁寧なお便りと、リビングの壁に飾ってある九学タオルを見ながら微笑んでおられるご本人の写真

が送られてきました。これほどまでに九学を思う先輩がおられることを実に嬉しく思いました。

もう一つは、昔の英会話のウィリアム・レグット先生(1968年～71年)が10月24日におよそ半世紀ぶりに九州学院を再訪されました。同窓会事務室では昔のアルバムを開き、はるか47年前の思い出話を花を咲かせ、夜は大江教会のカフェに当時の生徒や教職員など40人程が集まりささやかな歓迎のパーティーを開きました。

ところが、なんと今回の先生の熊本再訪のことが全国にテレビで放送されることになったのです。というのは、レグット先生に成田で声をかけたテレビ東京の人気番組「Youは何しに日本へ」のスタッフが、50年ぶりの里帰りストーリーに興味を持って熊本

までやって来て、懐かしい人々との再会のシーンや歓迎会の様子などをバッチリと取材して行かれました。どういう作品に仕上がっているのかがとても楽しみです。放送日については九学ホーム



ページなどでお知らせしますので、皆様是非ご覧ください。それにしてもまさに神の恵みとしか言いようのない出来事でした。

その他、学院や同窓会の近況などにつきましては、11月にお届けする「九学通信」の中の「同窓会だより」の欄に詳しく掲載させて戴きましたのでどうぞ一読下さい。



学院の施設 その7

熊本地震から復興なった  
煉瓦張りの新2号館

九州学院同窓会  
小崎義昭(S4)



株式会社 バイオプラン

〒101-0038  
東京都千代田区神田美倉町10番地 共同ビル(新神田)  
Tel/Fax 03-3255-0876  
http://www.bioplan.co.jp  
E-mail: yamashita@bioplan.co.jp

代表取締役 山下 哲郎

事業内容

- 乳酸菌及びその他の有用微生物の開発、販売
- 畜水産用及びペットの疾病予防、栄養剤の企画、開発、販売
- 健康食品の企画、開発、販売
- 環境改善剤の開発、販売
- 食品原料の販売
- 商品開発全般のコンサルタント(調査、企画、提案、開発等)

熊本にお帰りの際には、どうか九学会館一階の「同窓会事務室」をご訪問下さいますよう、心からお待ちしています。

最後になりますが、皆様方の御健康と東京九学会のさらなるご発展をお祈り致しております。

2017年10月25日

同窓会副会長(事務局専任)  
Isao ♥ KoteGawa(S24回)

## S25 齊藤堅固先生の想いで

編集部

折りしも、7月1日東京九学会年度総会の席上、当日早朝4時1分に齊藤堅固先生ご召天の報がもたらされ、一同、驚きと悲しみに包まれる中にも、阿部院長から先生のご功績、本会 島本会長から先生のお人柄、エピソードの披露がありました。当編集部も、以下 想い出を語らせて頂きます。

\*\*\*\*\*

齊藤先生と言えば、私と九州学院との縁が始まった昭和42年での記憶がよみがえります。私の父は、製紙会社に勤務していました。昭和42年は、父の仕事の関係で富山県高岡市に住んでおり、富山県高岡市伏木中学校の学生でした。年齢的なものもあり、両親の郷里の熊本に帰りたいとのかねてからの希望が叶い、昭和42年8月熊本八代工場に転勤となりました。通常の流れでは、八代第二中学校に転入のはずでした。それに反して、転入試験を受け昭和42年9月から九州学院中学校に転入してから、昭和48年3月に九州学院高等学校卒業するまで、八代から熊本まで汽車通学で5年7ヶ月九州学院に通うことになりました。ここで、何故、九州学院に入学したかと言えば、次のとおりです。

将来のことを見越して、3歳年上の兄が、先に九州学院高等学校に入学していました。

兄と齊藤先生とどういう関係だったか、齊藤先生が当時学校のどういう立場だったかわかりませんが、家族がまもなく熊本に帰ってくるということは、齊藤先生の耳に入りました。私のことを知った齊藤先生が、兄を通して九州学院入校を勧め、それから、兄から父にそのことが伝わりました。通常であれば、金銭面、通学面、学力面、友人面等総合的に判断して、八代第二中学校に進むのが自然と思われるのですが、その話を聞いた父が何を思ったのかわかりませんが、九州学院入学に興味を持ったのです。

齊藤先生は数学の先生で、何時も大きな三角定

規でグラフを教えて頂きました。

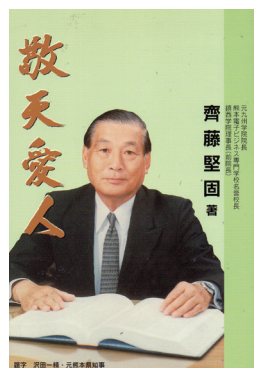
性格的には、開放的でくよくよしないタイプという感じを受けました。しかしながら、授業中ポツリと言われたことがあります。熊高の下位成績の者が九学にきていれば、熊大に合格させるのにと、常に九州学院の発展のためになることを考えられている方でした。

その後、九州学院を卒業して、10年後に妻と帰省して熊本駅のホームにおりた所、偶然にも齊藤堅固先生にお会いする機会がありました。修学旅行で帰ってくる生徒を出迎えるところでした。挨拶をして、「齊藤先生の勧めで九州学院に入学して卒業生で頑張っています」と言ったような記憶があります。

また機会があればお会いして、齊藤マジックについてお話を伺いたかったのですが、もう機会がなく残念です。どうぞ天国で安らかにお休み下さい。(S25 中路孝博)

先生は、昭和24年4月のある日、午前の何時間目でしたか、中学2年1組の教壇に、陸軍将校の乗馬ズボン姿で登壇され、黒板に「冶金」と、熊本高等工業学校(現熊本大学工学部)での専攻学科を大書され「ヤキンで読むとぞー」と大喝されたのを覚えています。そして、ご著書「敬天愛人」の81項「久憎(くにく)会への便り」にお書き頂いているように、高校1年の教科書から教材を作られたという数学(2元連立1次方程式からだったと思います)を教わりました。どのクラスの誰が言い出したか奉ったニックネームは「サイトー・モッコス」でしたが、「くにく会への便り」では、我々のクラスの授業理解と、卒業後の交わりに高い評価を頂いて大変面映ゆく、その優しいお人柄を慕わしく存じております。私は、高校1年の秋、家の都合で茨城の高校に転校してから14年後、新婚旅行で熊本へ行き、懐かしの九学校庭で偶然先生にお逢いする幸運を得ました。S30世代の皆さん

がご覧の放課後校庭で体育の先生を球拾いにゴルフの練習をなさる微笑ましきお姿ではありませんでした。近年は、大同窓会等で、殆ど毎年お目にかかり、研究しておられた讚美歌について教えを賜りました。先生の一番お好きな讚美歌は何番か? 優しくも剛直とも見えるご風貌から、「若き人々に贈る書」44項「われ



## 廃棄物処理を通じて社会に貢献します

株式会社クリーンテック

飯坂クリーンサイト  
ISO 14001 認証取得  
〒960-0261  
福島県福島市飯坂町中野字赤落27番  
TEL:024-541-2811 FAX:024-541-2510

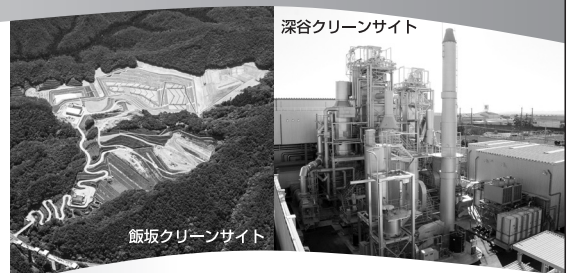
株式会社クリーンテックサーマル

深谷クリーンサイト  
ISO 14001 認証取得  
〒366-0812  
埼玉県深谷市大字折之口1985  
TEL:048-572-3445 FAX:048-572-3446

東京事務所  
〒163-0712  
東京都新宿区西新宿2丁目7番1号 小田急第一生命ビル12階  
TEL:03-6304-5010 FAX:03-5323-6750



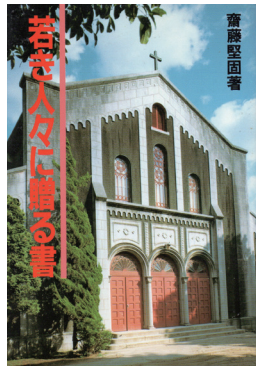
相談役名誉会長 反後 堯雄 (S6/昭和29年卒)



クリーンテックグループホームページURL <http://www.clean.ne.jp/>



ここに立つ”に引用しておいで  
 の267番“神はわがやぐら”  
 ではないかと思っておりましたが、  
 前夜祭の奏楽は“主よわが望みの喜  
 びよ”、ご葬儀で歌われた故人愛  
 唱讚美歌は404番“やまじこえ  
 て”だったと伺いました。心と口と  
 行いと生活で信仰を示し、艱難を  
 超えて来られたのですね。



九州学院校歌に送られてお幸せ  
 に神のみもとに旅立たれたと存じ  
 ます。(S6尾上 賢)

### 関東のいばら会総会・懇親会に出席

常任幹事 S20 池永 清

7月8日(土)11時半、飯田橋の  
 ホテルグランドパレスに於いて九  
 州ルーテル学院の同窓会支部で  
 ある関東のいばら会の総会・懇  
 親会が開催され、会長代理とし  
 て出席いたしました。

讚美歌312番と主の祈りによる  
 開会礼拝の後、大西由紀子会長  
 の挨拶で総会が始まり会計報告、  
 役員改選(会長再任他)等が満場  
 一致で承認されました。

総会後は懇親会が行われました。  
 谷口美樹・のいばら会会長、内  
 村公春院長(前九州学院院長)、  
 林田博文・中高校長の挨拶があ  
 り、坂根信義前理事長(現九学  
 理事)の乾杯で懇親会が始まり  
 ました。神奈川県湯河原からは  
 坂仁・前校長、熊本からは前  
 記3名以外に副会長の村本さん、  
 会計の前田さんが見えられまし  
 た。また東京熊本県人会からは  
 堤清理事長が参加、総勢65名  
 (内男子卒業生1)の大変にぎや  
 かな会となりました。

会食の合間にはティータイム  
 コンサートが行われ、卒業生の  
 渡辺優美さん(東京音大伴奏者  
 コース修了、ピアノ)、清水理恵  
 さん(東京音大オペラコース修  
 了、ソプラノ)によるミニ演奏  
 会がありました。



最後は讚美歌405番(神とも  
 にいました)を歌い、名残を惜  
 しみながら2年後の再会を誓  
 いあいました。

九学会の更なる絆を!!

顧問 連川 悠一

(S11)



また会う日まで、かみのまもり 汝が身を離れざれ

### \*連載；食レポ 九学卒業生経営のレストラン\* その1「あづま」で熊本料理を堪能



よか店でしよう

10月13日、S9回 吉村 勉さん  
 のお店「あづま」で、池永、中  
 路、本郷、高木、尾上の編集部  
 一行はふるさとの味たっぷりの  
 熊本料理を堪能させていただきました。  
 寿司・季節料理 くまもと料理  
 あづまは丸の内3丁目新国際  
 ビル(JR有楽町駅から徒歩2分、  
 東京メトロ有楽町線D3出口直  
 結)B1にあります。

国際ビジネス街丸の内ですが、  
 ここ店内は熊本。熊本弁も聞  
 こえ、大変ご繁盛でした。早速  
 おすすめ料理を注文・・・食  
 べないうちにまずは写真撮影。



右上 人文字ぐるぐる 左上 馬刺し  
 右下：馬ホルモン いため 左下：ご  
 存知・からしれんこんです。ど  
 れも、ほんなこて旨かったです。  
 (記尾上)

### その2「和食こて川」でミニミニ同窓会

S20 池永清

8月10日に、<sup>せい</sup>小手川 誠氏(S52回)が  
 横浜で経営するお店「和食こて  
 川」を訪れました。オープン  
 は本年5月9日、場所は横浜・  
 みなとみらい線「馬車道駅」の  
 すぐ近くです。同駅6番出口  
 を出て元町・

寿司・季節料理  
 くまもと料理

あづま

TEL 03-3213-2728(休日:土・日・祝)

理 客

ニュー東京

TEL 03-3215-2538(休日:日・祝)

九学出身の方は2,600円(通常3,000円)のサービス  
 料金でお待ち致しております。

〒100-0005 千代田区丸の内3-4-1(新国際ビルB1) 吉村 勉(S9)





中華街方面に歩くこと約2分、三菱東京UFJ銀行を過ぎて2軒目・山口歯科医院の地下1階にそのお店がありました。店内は優しい照明とシックな調度品が調和した心休まる居心地の良い大人の空間。着席は洋式でおよそ20です。店主は DJKOTE として音楽活動もしているため、和食の店とは思えぬ癒し系の西洋音楽がBGMで流れていました。

ちなみに氏の父親は九学の小手川先生です。

今回一緒に訪れたのは伊藤秀一氏 (S20回・卒業同期)と遠山友寛氏 (S21回・入学同期)。ディナーはコース料理 (予約制) がメインで、選んだのは雪コース (4,000円)。料理は前菜から始まり、吸物、お造り、天ぷら、食事 (天茶) と続き、最後は水菓子をいただきました。季節によってメニューも変わるそうです。味も価格もやさしい!

この日3人は仕事も家庭も忘れ、お酒を酌み交わしながら思い出話などに花を咲かせ楽しいひと時を過ごしました。

お店の住所は横浜市中区本町3丁目ニュー本町ビル地下1階 (☎045-640-0188)。詳細は各種検索サイト、ユーチューブ (動画あり)、グーグルマップで検索可能です。月～金はランチが11時半～14時、ディナーが17～23時。日曜は定休日。土曜祝日は要予約で、ディナーのみ17～23時。

伊藤、遠山の両氏は現在弁護士として活躍中ですが、ともに高校在学時にAFS米国交換留学、慶應大学進学、司法試験合格と同じ道を歩んできました。「伊藤さんのお蔭で今の自分がある」と語る遠山氏。彼は昨年10月、九学の「創立者の精神を覚える会」で全生徒に母校の思い出や進路について熱く語ってくれました。



左から 池永、伊藤、遠山 後ろが小手川店長

## オカヤマくん “227cmの世界”

月刊バスケットボール (日本文化出版) 好評連載



大商大3年時分の1975年、岡山氏はアメリカ・オレゴン州のポートランド大に留学した。当時のヘッドコーチ、ジャック・アビーナ氏は1987年までの17シーズンで同大に222勝をもたらした名將で、その厳しい指導は一目置かれる人物だった。そんなアビーナ氏の下、岡山氏はアメリカの空気とチームの雰囲気いち早く馴染んでバスケットボールに汗を流した。しかし「日本人でアフター (213cm以上)」という特徴はよくも悪くも目立つ存在であり、コート内外の目撃証言によって、その行動はアビーナ氏の把握するところとなっていた。

店主 小手川 誠 (S52・J50)

・ランチ 11時半～14時<月～金>

・ディナー 17時～23時<月～土>

\*土・祝のディナーは御予約のみ

横浜市中区本町3丁目24-2 ニュー本町ビル地下1階

\*みなとみらい線「馬車道駅」6番出口より徒歩3分

TEL: 045-640-0188

<忘年会プラン>

お料理+飲み放題 2時間半 2000円 (税込)



川崎会計事務所

税理士 川崎 義治

東京九学会監査役 (S11)

〒171-0021 東京都豊島区西池袋5丁目24番12号 西池袋ローヤルコーポ902  
TEL (03)3984-2858 FAX (03)3984-2868 URL http://www.kkj.biz



### 10月21日 プロ野球ドラフト会議で

高校通算 52 本塁打 強打の捕手 村上宗隆選手がヤクルトスワローズから1位指名!



村上宗隆選手

村上選手の記者会見には多くの報道陣が詰めかけました。→

また S66 上武大 俊足巧打の外野手 で今夏ユニバーシアード 大学日本代表 島田海吏選手は阪神タイガースから4位指名を受けました。



### 東京 KG 会新卒業者歓迎会

10月21日 渋谷居酒屋バッハにて開催



出席者64名の盛況

### 第64回東京熊本県人会総会・懇親パーティー 2017くまもとまつりin Tokyo

11月6日に東京ドームホテルで開かれ、島本会長以下多数の会員が出席しました。



来賓の 山下泰裕さん(S28名誉卒業生)と

### マット君の英語教室

#### 小泉八雲 五高英作文試験問題 答案の添削

編集部

前号では、熊本 小泉八雲旧宅 頒布の小冊子 小泉八雲自筆試験問題に掲載されている英作文問題（八雲が1893年卒業の五高生に課したもの）に編集部が挑戦し マット君の英文答案を掲載しました。今号は、田中寅雄（コトラ）先生に英語を教わった S6 尾上が、別途作成した答案を Native Writer の S54 マット君に添削して貰い、英語を勉強しよう という企画です。

\*答案として書きたい内容（前号より）

この質疑は、カーライルが晩年に名誉総長として勤めたエジンバラ大学で行われたものであると言われる。ヴィクトリア女王のもと、英国が未曾有の繁栄を遂げる一方、文化面、社会面において将来に解決を迫られる諸問題が心配され始めたころ、同郷のスコットランドの大学生が自分の人生の為、今、何を学んでおけばよいかを、伝記等多くの著述を成し、歴史家、社会評論家にして、預言者のような時代の導き手と見做されていたカーライルに教えを乞う機会を得たことは、極めて幸運であったと言わなければならない。人類文明の全歴史、並びに予想される未来のみに言及しながら、良い書物における「永久なるもの」とは何か？



多摩八十八ヶ所第一番札所

真言宗豊山派

## 安養寺

就職 東京九学会会長 島本誠永(S30)

〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-1-21

### 翻訳

## 竹熊 誠(S15)

TAKEKUMA, Makoto

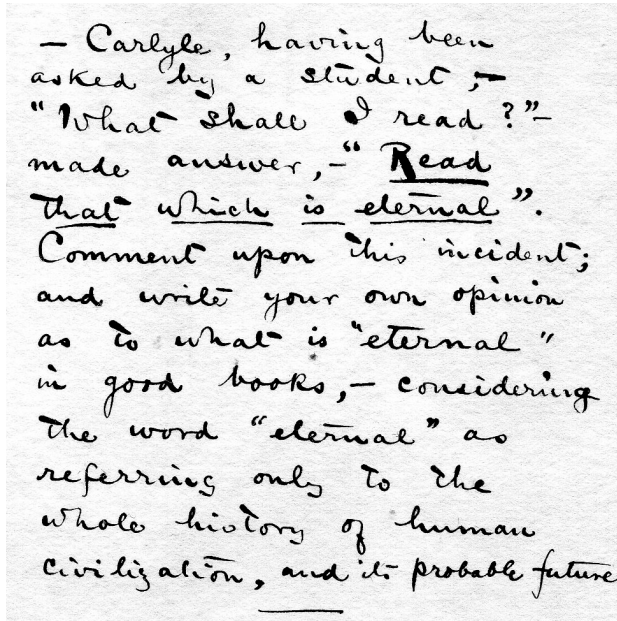
〒261-0013 千葉市美浜区打瀬3-1-3 プエナテラーサC-711

TEL・FAX (043)299-7521

E-mail: mtakekuma@ss.em-net.ne.jp



彼のエッセイ「過去と現代」の構成等から見て、歴史的事実の考証、現代の諸事象の分析評論から、永久に繰り返される文明のサイクル若しくはトレンド、永久に変わらぬ規範を見据えて行こうとすることではないかと考える。



小泉八雲自筆の問題\*

\*解答英文の添削

This question -and-answer is assumed to have happened at The University of Edinburgh where Carlyle was <sup>as</sup><sup>1</sup> the honorary president in his later life. At that time, various cultural or social problems which should be solved in future were going to be concerned while Great Britain was most prosperous ~~in~~ <sup>during</sup><sup>2</sup> the reign of Queen Victoria. The students<sup>3</sup> of Scotland <sup>are</sup><sup>4</sup> believed lucky ~~having to have~~<sup>5</sup> such <sup>an</sup><sup>6</sup> opportunity to ask Carlyle the historian, and social critic, who had written many biographies or other many literary works to be regarded as the vatical leader of generation. I think, seeing the construct of his essay "Present and Past"<sup>7</sup>, "eternal" given by the question is the eyes to look steadily <sup>on</sup><sup>8</sup> the endless repetition or trend or cycles<sup>9</sup> of culture, the condition of being unchangeable based on historic investigation, analysis and evaluation of present various affaires

取り消し線、赤字の挿入がマット君の添削ですが、これをやって貰うに当たってのやり取りは以下のようなものです。

尾上「前置詞、冠詞、分詞構文／不定詞の不適切な使い方、言葉や言い回しのおかしさの箇所を指摘して付番して下さい。そして“どうして直したか”を説明して下さい」

マット「英語が母国語なのでルールはなかなか説明できないですね。“自然”“不自然”としか教えられません。前置詞、冠詞、分詞構文／不定詞などは考えたことがなく学校でも教えられませんでした・・・」

ここで、尾上は、60年経ってもまだ受験勉強法から抜けられない自分にハタと気づき、“言語とはそういうものなんだ”と思い知らされ、そんなら「なるべく“自然”に読めるように直して下さい」とお願いしました。前号掲載のマット君の英文 Answer には遠く及びませんが、成る程、私が読んでも読みやすく“自然”に近くなったのではないかと思います。どうしてか？ 先ず、私の文は 1) 下手に日本語の通りに書こうとしている、2) 前置詞の意味上の誤用、3) 4) 学生は複数人いた筈、5) “～するとは幸福”には to do が適当、6) 9) 名詞は冠詞・数一体として覚えなければいけないのにそうしていない、7) 読みやすいように、8) 自動詞／他動詞のとり違い、等が思い当たります。

マット君は、“自然な文”にするためには、「set phrase が大切だ」と言います。set phrase とは、他の言葉でも意味は通るが、決まった言い方（成句：idiom とは違う）で、今回の解答案では、上記 5) の lucky to do の他、マット君の英文（前号参照）にあって私の文にはない under the rule of（私は at the time of と書いている）等がこれに当たります。初めてのビジネス相手への手紙・メール等の英語に、たとえ文法的誤りがなくても“おかしい・不自然”と感じられると、こちらの会社や製品サービスの質を低く見られてしまうことがあるようです。「自然」な英文を書くためには、よい英文に沢山触れて set phrase に慣れ、翻訳等の場合 辞書の第一義の字句にとらわれず、言葉の元の意味をよく考えて使うことかと思えます。

（文責 尾上）

\*小泉八雲旧宅 小泉八雲自筆試験問題より

東京九学会

幹事長

高森 重視

(S32)



〒104-0061 東京都中央区銀座8-5-22 805銀座ビル 3F  
TEL 03-5568-3011

本郷 久 (S32)



### 平成 29 年度会員総会報告

以下の通り、役員が改選されました

- 役職 (担当・補佐)
- 名誉相談役 旧 28 中園達哉
  - 相談役 S6 緒方昭義
  - 顧問 S11 連川悠一
  - 会長 S30 島本 誠
  - 副会長 S25 岡山恭崇
  - 幹事長 S32 高森重視
  - 副幹事長 S25 中路孝博
  - 会計 S34 岡本 明
  - 会計補佐 S18 池部荷葉
  - 監査役 S11 川崎義治
  - 常任幹事 S20 池永 清
  - 常任幹事 S6 尾上 賢  
(東九通信： S54 M・バーゼンス  
S56 来栖優歌)
  - 常任幹事 S30 高木宏一
  - 常任幹事 S43 宮田哲治  
(ホームページ/広報)
  - 常任幹事 S32 本郷 久  
(企画/渉外：S56 堀川 茜  
S57 赤木 綾  
S58 福島千恵)
  - 常任幹事 S33 下田克彦
  - 常任幹事 S39 永谷 隆
  - 常任幹事 S36 赤星貴司 (総務)
  - 常任幹事 S51 坂本泰亮 (KG 会)

#### 29 年度活動計画

総会の開催、ホームページ・「東九通信」の充実、神奈川支部総会 (日時未定)・熊本県人会への参加

重点目標：新規会員の確保と具体策立案、学年幹事の充実 (特に若年層) 運営経費の削減  
会員相互親睦の充実：ゴルフ大会・観劇会・納涼会・忘年会・新年会等の開催・大同窓会・各支部総会・新卒者歓迎会 (KG 会) への参加

#### 平成29年度寄付納入者(順不同)

卒業回	氏 名
S6	田 浦 幹 彦
S9	吉 村 勉
S11	高 木 恵 一
S15	坂 井 秀 昭
S20	池 永 清
S30	島 本 誠
S30	萩 本 順 三
S32	高 森 重 視
S34	中 川 健 藏
S38	小 松 竜 太

.....

本会会員総数は現在 760 名。本通信の発行部数は、本校・関係団体への送付、在熊卒業生等応援して下さる方々への贈呈分を含め 1000 部を数えます。活動としては、総会・懇親会、KG 会・新卒者歓迎会、神奈川支部の会合、納涼会、ゴルフ会、観劇会、広報 H.P の運営などが行われております。会の一層の発展のため、総会への奮っての参加、会費の納入をお願い致します。なお、寄付はまだ締め切っておりませんので、随時受付中です。

.....

編集後記 原稿が集まり始めた頃、プロ野球ドラフト会議からの朗報があり、テレビの画面には九州学院の文字が度々出て来て、大変誇らしい想いをしました。本校ホームページでは、毎日のように学校行事のほか、運動部、文化部の目覚ましい活躍の News が更新されています。これらは、送られて来る「九学通信」、「九学同窓会」に詳報されています。当通信は 2008 年 11 月創刊以来、今号で 20 号となりました。会員の皆さま、本校先生方・同窓会のご支援・ご協力のお蔭と感謝しております。次号は来春 4 月発行の予定です。引き続き宜しくお願い致します。

2017 年 11 月 東九通信編集担当一同



URL : <http://www.kg-kai.jp/>

九學東京若手の会 KG会 代表 坂本 泰亮(S51)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 株式会社オピカ内  
TEL : 090-3492-5372 E-mail : s51sakamoto@kg-kai.jp

メール用QRコード  
連絡はこちらから



岡本 明(S34)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 Tel 03-5300-0722 Fax 03-5300-0723 <http://www.oka-p.co.jp>